



自由経済システムとビジネス

令和7年12月15日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

自由というすべての許容が経済において存在することは、ビジネスが無限の自由において自己を有することである。

これらは富という原則とともに、ビジネス、すなわち経済の与えるものである。

これらが市場原理を有する中、その進歩性や優れた知性をはるかに優れる現実をビジネスにおいて創造するものである。

これらは先端性時代性において、その富という渴望とともに、経済という現実がその運営を行うものである。

これら市場原理の下、企業は自己の選択を行うものである。それらは優れるということが企業の生き残りを与えるものであり、未来を拓くことにおいても等しいのである。

これらは優れるということへの正しい考察を求めるものである。なぜならば優れるものは必ず未来を有するからである。

これらは自らの理想や目的への飛躍を求めることも可能なのである。また高い倫理的要求が西洋の人道主義を基盤としてそれら自由経済システムを維持することは理解されるべきである。

しかし優れるということは、それに対比して現実を有するものであり、それらが可能性や現実を創造することは明らかに可能である。

これらは企業経営における可能性であり真実なのである。優れたリーダーは必ず優れた現実を与えるものである。

これが結果という正しい判断であり、それが唯一現実において許容を得るものなのである。